

# 令和5年度事業報告

## 1 管理運営事業 (館報 P.7- 「Ⅳ 観覧者及び施設利用の状況」)

※括弧内は増減率

### (1) 決算

・歳出 241,184 千円 前年度比 317,715 千円減少 (43.2%)

・歳入 21,618 千円 前年度比 237,673 千円減少 (8.3%)

※令和4年度はプラネタリウム更新があったため、歳出、歳入共に大幅に減額した。

#### 歳出の主な項目

##### 【博物館事業】

- ・特別展「大集合！富山の鳥たち」の開催 4,423 千円
- ・企画展「近代プラネタリウム誕生100周年」の開催 1,091 千円
- ・企画展「立山さんろく 自然の魅力」の開催

##### 【施設・展示設備等の更新・修繕】

施設・展示設備等の維持・管理のため必要な修繕等を実施した。

##### 〔施設〕

- ・空調設備関係の修繕 1,586 千円
- ・3階外壁のひびわれ補修 704 千円
- ・情報システムの更新 509 千円
- ・構内電話機設備の更新 272 千円
- ・本館内・外壁ひび割れ補修 2,926 千円 ※令和6年度へ繰越  
(令和6年能登半島地震で損壊を受けたもの)

##### 〔展示〕

- ・展示更新計画の策定 3,300 千円

### (2) 入館者数

129,875 人 前年度比 29,927 人増加 (30.0%)

### (3) カップル無料の日

毎週土曜日に高校生以上のカップルで来館すると入館料を無料とする事業

11,277 人 前年度比 3,213 人増加 (40.0%)

### (4) 高校生等の無料化

高校生以下の入館料を無料とする事業 (平成29年4月から通年無料)

53,154 人 前年度比 10,548 人増加 (24.8%)

※うち高校生数

1,577 人 前年度比 397 人増加 (33.6%)

(5) 孫とおでかけ支援事業

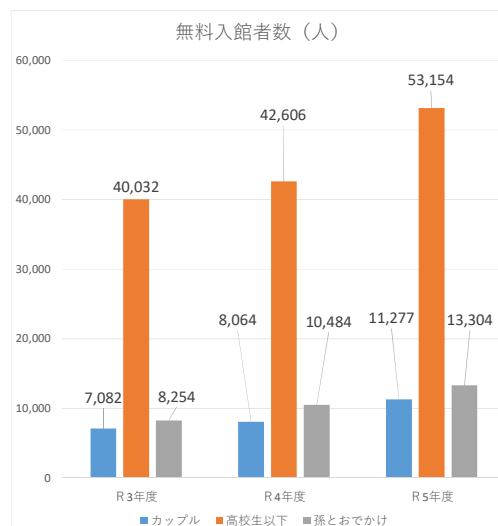
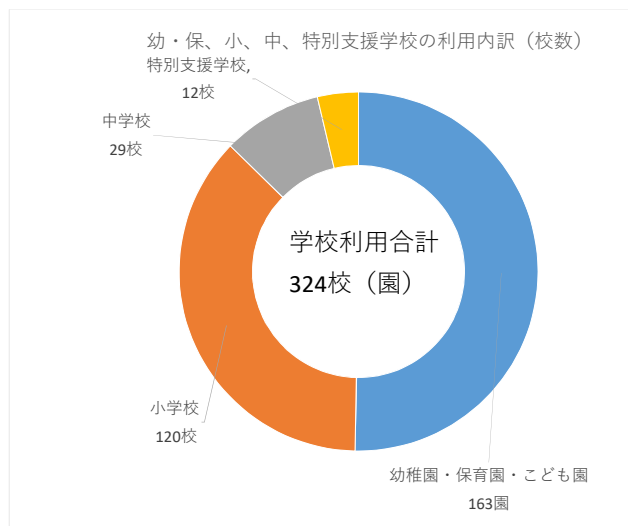
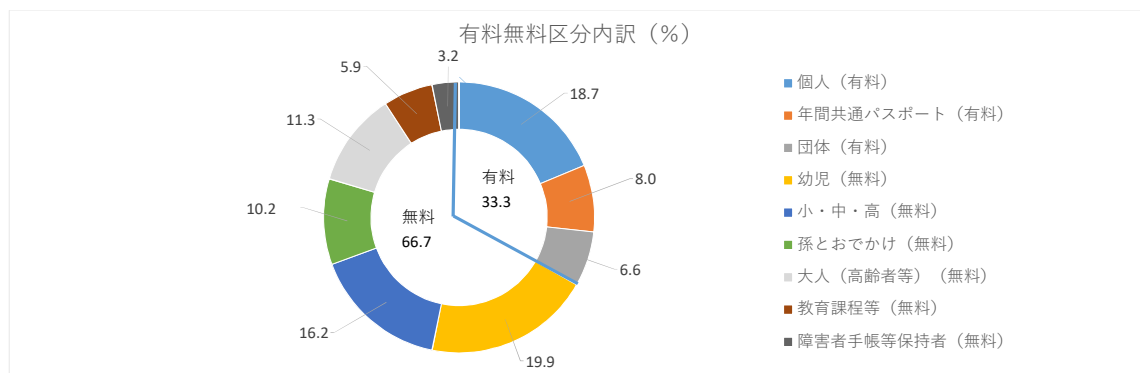
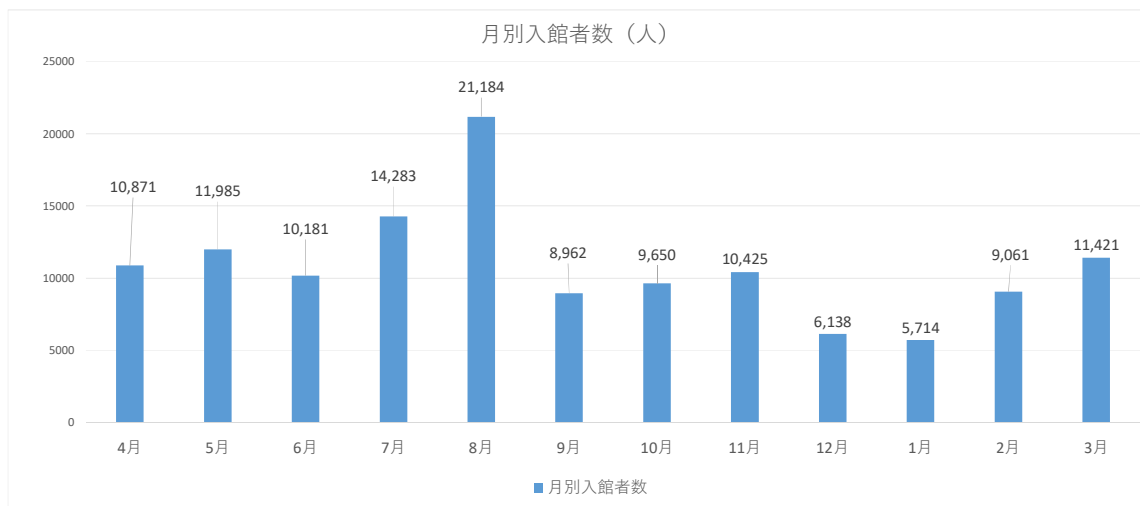
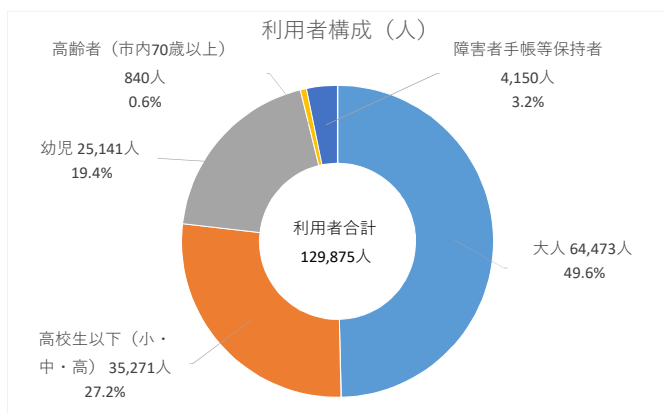
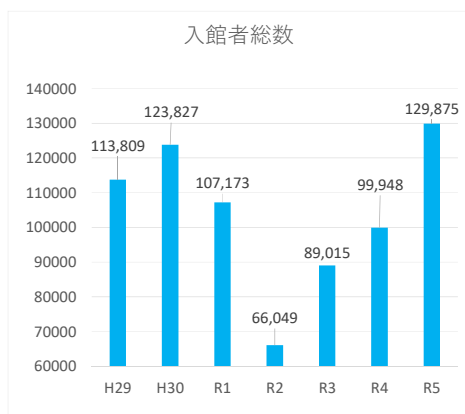
祖父母とお孫さんが一緒に来館すると入館料を無料とする事業

令和5年度対象自治体：富山市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、高岡市、氷見市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町、魚津市、黒部市、入善町の県内14市町村。

祖父母 6,046人    孫・ひ孫 7,258人    計 13,304人

前年度比 2,820 人増加 (26.9%)

## 令和5年度観覧者の状況



## 2 調査研究事業（館報 P. 12-）

分野別研究・博物館学的研究

研究報告第 47 号の発行、学術論文・学会などでの発表、読み物執筆。

科学セミナーを 3 回開催。

研究発表会を 3 月に開催。

令和 5 年度「東レ理科教育賞奨励作」を市川真史主幹学芸員が受賞。

## 3 展示事業（館報 P. 17-）

特別展を 1 回、企画展を 7 回、ロビー展を 13 回開催。

### 主な展示会

- ・特別展「大集合！富山の鳥たち」

当館に収蔵されている 200 点以上の鳥類剥製と鮮明な生態写真を展示し、富山の多様な環境に合わせて暮らす鳥たちの生態や体のつくりを紹介。

期間：令和 5 年 7 月 15 日（土）～9 月 3 日（日）

観覧者数：22,481 人

- ・企画展「近代プラネタリウム誕生 100 周年 -The Planetarium Story-

当館の昔の投映機の部品や全番組ポスターをはじめ、天球儀や文献などを展示し、プラネタリウムの歴史を紹介。

期間：令和 5 年 11 月 1 日（水）～12 月 13 日（水）

- ・富山市科学博物館・富山県立山カルデラ砂防博物館共同企画展「立山さんろく 自然の魅力」

日本一の落差をもつ称名滝、“立山杉”の巨樹群を育む美女平、方位磁石が狂う尖山など、立山山麓部の自然観察場所とその魅力を紹介。

期間：令和 6 年 3 月 2 日（土）～5 月 19 日（日）

- ・ロビー展「能登半島地震 被害調査プロジェクト」

能登半島地震の身の回りの被害の実態を明らかにし、記録として残すため、来館者に用紙で報告していただく展示コーナーを設置

期間：令和 6 年 2 月 17 日（土）～7 月 15 日（月）

#### 4 資料収集事業（館報 P. 21-）

令和 5 年度増加資料数	3,659 点
総収蔵資料数	517,090 点
標本データ件数	348,000 件
データベース化率	67.2%

#### 5 普及教育事業（館報 P. 25-）

##### (1) 行事

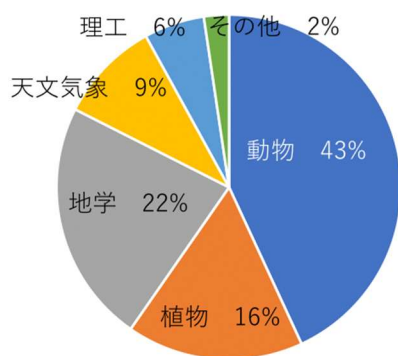
行事タイトル数 : 84

のべ開催日数 : 286 日

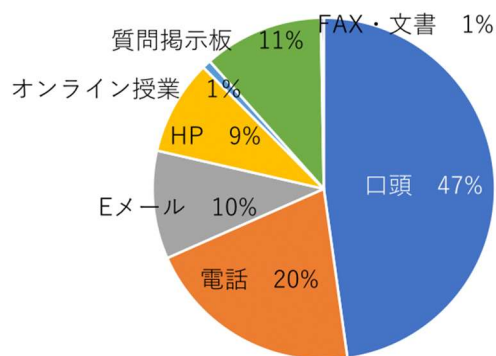
参加者総数 : 13,428 人

・とやまの自然探検	5 回
・サイエンスライブ（土日休）	1 日 2 回（のべ 107 回）
・科学教室	6 回
・講演会	2 回
・星空観察会（毎週土曜日の夜）・特別観察会	85 回
・ボランティアによるイベント	5 回
・自由研究のすすめかた相談会	11 日
・標本の名前を調べる会及びまとめかた相談会	1 回
・夏休みクイズラリー	23 日間
・サイエンスライブまつり	1 回
・他機関・団体との共同イベント	12 件

##### (2) レファレンス（科学の質問への回答） 総数 724 件



分野別内訳



質問方法別内訳

(3) 出版物発行

普及雑誌「とやまと自然」	4回 県内小・中学校、高校等に配付
リーフレット「とやまサイエンストピックス」	6回 市内小・中学校等に配付
「星空だより」	12回 市内小・中学校等に配付
資料「学校で博物館を利用しよう！」	1回 市内小学校に配付
	館の案内と共に来館校に事前送付

(4) 学校による博物館の利用

「教員のための博物館の日」令和5年8月3日（木）実施

(5) オンラインによる授業参加

芝園小学校4年生	令和5年7月18日（火）
堀川小学校5年生	令和5年10月27日（金）
堀川南小学校6年生	令和6年2月6日（火）
上滝中学校2年生	令和6年3月15日（金）
八尾中学校2年生	令和6年3月15日（金）

6 プラネタリウム投影事業（館報 P. 40-）

プラネタリウム観覧者数 94,682 人（全入館者数の 73%）

・一般投影	季節の星座解説と映像番組
・幼児向け投影（園児を対象）	6～7月
・学習投影（主に小4児童対象）	9～12月
・特別投影・特別イベント	19回

主な特別イベント

「KAGAYA スペシャルトークショー～水の惑星から星空を望む～」

プラネタリウム番組「水の惑星-星の旅シリーズ-」に関連し、制作者の KAGAYA 氏の講演会を行った。

「潜入！地下の観測施設 KAGRAー重力波で宇宙の声を聞くー」

東京大学宇宙線研究所の宮川治氏を招き、KAGRA 施設内の全天周映像を放映しながら重力波や観測装置に関する講演会を行った。

※富山市民文化事業団主催 プラネライブを1回実施。

「アン・サリー Live in プラネタリウム」

## 7 恐竜化石事業（館報 P. 46）

普及行事「夏休み恐竜探検隊」を8月16日（水）、17日（木）に実施。参加人数31人。

## 8 情報・広報事業（館報 P. 47-）

導入から6年が経過した情報システムの大部分を更新し、画像ライブラリの公開システムと機関リポジトリは外部クラウドサービスを利用したものに変更した。

昨年度に減少したウェブサイトのページビュー数が増加した（日平均でR5年度2,999、R4年度2,733、R3年度3,307）。

## 9 他機関への協力（館報 P. 51-）

職場体験学習「14歳の挑戦」およびインターンシップの受け入れ。博物館実習9人。

「形の科学シンポジウム」開催。

## 10 ボランティア事業（館報 P. 57-）

登録ボランティア 91人。

主に野外行事や星空観察会で活動していただいた。また、ボランティア企画の読み聞かせの活動を行い、グループ活動を再開した。

## 11 「ジュニア科学賞・とやま」事業（館報 P. 59、パンフレット）

第21回「ジュニア科学賞・とやま」の選考および表彰を実施した。

## 12 科学博物館整備事業（館報 P. 60、科学博物館展示更新計画概要版）

今後の常設展示と天体観察機能について、あり方と方針を定め、リニューアル案を示した「富山市科学博物館展示更新計画」を策定した。

## 13 友の会（館報 P. 61-）

会員数 一般会員 115人 家族会員 199人 賛助会員 6口（令和5年12月末）  
科学教室5回、野外教室4回、バスツアー1回、スペシャルデー1回、  
会報発行7回

## 14 アンケート調査結果（館報 P. 63-）

プラネタリウム幼児向け投影参加団体アンケートの実施

プラネタリウム学習投影参加校アンケートの実施